

1. 献品 タオル類 (小学校保護者)**2. 夜回り(9月7日)**

6時半過ぎに息子と元寺に行くと、早いものでおむすびは既に大分できていた。スタッフの常連は正平協会長の渡辺清さんをはじめ10数人。実は五〇～六〇代のおばさん方が主力であり、実際のところこの方たちの奉仕で支えられている。高2の愚息などはたいそうかわいがられる。何しろ皆さんテキパキと仕事が手早い。私は邪魔にならないように端っこで洗い物をするか、おむすび作りに徹している。

さて、いつもの旧図書館コースへ。出発8時半。スポーツセンター裏から国際センター裏手を巡り➡旧図書館周辺と橋下ハウス➡勾当台公園一帯➡帰着10時半～11時。途中いつもいる人には変わりはないか困ったことはないかを尋ね、新しい人には土曜日の炊き出しの案内をする。

※後日、といってもあらたまった日でもなく飲んだ日の帰りに勾当台あたりを回って帰る(そういうときは自分が酒気を帯びているので声はかけない)時に気づいたことがあった。彼らは、普段の日は夕方には酒盛りをしていることである。ということは、第2水曜日の晩は夜回りがあるので宴会を自粛しているのではないか?確かにボランティアのおばさん方は、酔っぱらいのホームレスを見たら遠慮などなく説教を始める。この方たちは教会の宝物だと思う。どんなにくだを巻くオヤジたちも、おばさん方のきつい説教の前には小さくなってしまふのだ。酒気帯びは炊き出しにも出入り禁止になっている。それもあってか、第2水曜の晩は、彼らはいつもおとなしく夜回りの来るのをを待っているのかもしれない。酒盛りしているところには出くわさないからである。それはそれで、ありがたいことだと思う。

3. 炊き出し(9月10日)

仕事が抜けられず、息子だけ参加した。この日は結婚式がある関係で元寺は使えず、急ぎょ北仙台教会を準備のためにお借りしたとのこと。炊き出しにきた人は100人ぐらいとのことだった。息子は「よく声をかけられる。知り合いが多くなった。」と言い、楽しくやってきた様子だった。

4. お便りのこと

ありがたいお便りを2通いただいたので、炊き出し報告に代えてそれを紹介させていただきたい。(ご本人の了解を得ていないことをお許し願いたい)

①毎月献品を下さる小学校保護者の方からドミニコ祭の日に献品と一緒に次のお便りが入っていた。

「(夜回り通信の送付を)ありがとうございました。必ず笑顔でむかえられる奉仕とは違い、地道な活動を広い心で続けられる事は、先生ご自身はもちろんのこと、ご家族の皆様におかれましても大変な努力と存じ上げます。

微力ではございますが、今後もお力の一端になれるよう心がけてまいります。

(今回は、名入りタオルではありますが、すべて新品です。使いやすいよう糊を流すように洗濯してお持ちいたしました。)お役に立てれば幸いに存じます。」

大変ご丁寧なお志が伝わってきて恐縮いたしました。身に染みてありがたく思います。私の『道楽』は家内を始め家族は幸い理解してくれています。(言ったら聞かない私に諦めているのかもしれない?)出向くときは気重になっていることもありますが、疲れによるものです。でも、自分の中に元気をもらいに行くのだという思いがいつもあります。だから帰りはいろんな思いと一緒に

に、仕事を終えた達成感のようなものがあります。

元々私の活動の出発点は学生時代の東京、南千住の山谷でした。30年前（自分でも信じられない）二十歳の頃になります。洗礼前の私は、そこのミッシヨナリーズオブチャリティ（『神の愛の宣教教会』マザーテレサの日本支部）に出入りしていました。インド人の若い（ブラザーと呼ばれた）3人の修道士にくっついて毎週夜回りに出ました。そこに泊まって彼らの変な日本語と付き合い、しょっぱい味噌スープとあやしい味のするパンを一緒に食べていました。一口に言えば、夜回りもさることながら、人間の優しさを私はブラザーたちに教わりました。ブラザーたちを通して神様を知りました。また何より私にとって一番だったのは、そこに泊まってみる夢のことでした。それまで見たことなどなかった記憶の夢——まだ小さかった私が母に手を引かれている時に、雲の上の御殿を一緒に目にしたことが夢の中で思い出されたことでした。その時から私はとりつかれているのかもしれない。

- ②「思いがけず夜回り通信を読ませていただきました。…………でもどうぞ無理して燃え尽きてしまわないよう、時には休みながら、いい加減で。」と、コメントくださりながら感想をよこしてくれた方もいました。

「(中略) ……………何と表現してよいかわかりませんが、そういうことをしている時の気持ちってふだんの生活ではあまり経験できない、なにかピュアな豊かなものがあるのでしょうか。……」

『ピュア』と自分で感じたことはないのですが、毎回参加されている主婦の方たちのパワーだけはすごいと思っています。

人の迷惑も顧みずにこの『通信』を高校職員室に配り続けています。幼・小は気が引けるので控えていますが、一番は献品ほしさからです。ポスターの掲示だけでは不十分と考え、献品の使途とホームレスの実態をお伝えするのが一番の宣伝と思ったからです。おかげでこれまで高校職員にもたくさん協力いただきました。生徒への波及はまだです。炊き出しに参加してみたいという生徒がやっと出てくるようになりましたが、これからの展開は自分でも未知数です。7年ほど前にボランティアの生徒と職員で毎月炊き出しをやりました。10ヶ月続けたところで、私のミスからトラブルが起こり挫折しました。二度と同じ失敗をしないことだけを考えています。

皆さんありがとうございます。これからもできる時にできる範囲でご協力いただければ幸いです。私自身も好きなことをできるだけんびり気長にやってゆきます。

**次回炊き出しは10月8日にあります。献品ありましたらお預かりします
のでよろしくお願ひします。**